

## ECACC 標準株細胞 European Collection of Cell Cultures

### ■ 融解方法 ■

- 細胞が届いたら、ドライアイス中からバイアルを取り出す。  
※ 保存する際は、細胞到着後すぐに液体窒素中に移すこと。-80℃での保存は、細胞の生存率を悪くする恐れがあるので避けるようにする。
- 取り出したバイアルを37℃の温水中に浸し、1-2 分間揺らしながら融解する。融解したことを確認したら、温水中からバイアルを取り出す。  
※ 融解中に、バイアル中の液体窒素が飛散することがあるので、融解の際はフェースガード・手袋を装着し、注意すること。
- 70%アルコールでバイアル外側を拭き、クリーンベンチ内にバイアルを移す。
- あらかじめ10mL の培地を入れておいた遠心管に、バイアル中の細胞浮遊液(1mL)を入れ、軽くピペッティングした後、1,500rpm で1分間遠心する。
- 細胞沈査を確認し、上清を捨てる。
- データシートに記載の培養容器 もしくは、25cm<sup>2</sup>フラスコに増殖培地を加える。

培養容器	増殖培地量
25cm <sup>2</sup> フラスコ	5mL
75cm <sup>2</sup> フラスコ	15mL
35mm ディッシュ	2-3mL
60mm ディッシュ	5-10mL
100mm ディッシュ	10mL

- 増殖培地を加えた培養容器に細胞沈査を全量播種する。  
※ 細胞が部分的に増殖しないように注意する。
- データシートに記載の温度・CO<sub>2</sub>濃度に調整したインキュベーターに、細胞を播種した培養容器を移し、培養を開始する。  
※ フラスコを使用する場合は、CO<sub>2</sub> が培養容器内に循環するようにフラスコのキャップを緩める。

### ■ 保証期間 ■

凍結細胞の保証期間は 30 日間です。当社から到着後、速やかに培養を開始してください。なお、直ぐに培養を開始されない場合には液体窒素タンク(-135℃以下)にて保管してください。

-80℃での保管は細胞の生存率に悪影響を及ぼす可能性もございますのでお控えください。

### ■ 注意 ■

- 本製品は研究用細胞です。試験研究以外の目的に使用しないでください。
- 本製品と眼や皮膚との接触を避けてください。
- 本製品を飲み込んだり、吸入したりしないでください。
- 本製品を倫理に反する実験に使用しないでください。
- 誤った使用方法等により発生した損害については、当社の責任外とします。

CEL-1/0807D

#### 【お問い合わせ先】

大日本住友製薬グループ

**DSファーマバイオメディカル株式会社**

(受注・発注/学術のお問い合わせ先)

〒564-0053 大阪府吹田市江の木町33-94

TEL 06-6386-2164 FAX 06-6337-1606

URL : <http://www.dspbio.co.jp>

E-メール : [labopro@bio.ds-pharma.co.jp](mailto:labopro@bio.ds-pharma.co.jp)